

●さまざまなレベルの人の人の移動を歴史学・人類学の複合的視点で捉えた総合研究。
●民族移動に伴う文化の接触や衝突、揺れ動く現場から「変容する文化」の動態を報告。

民族の移動と文化の動態

——中国周縁地域の歴史と現在

国立民族学博物館 塚田誠之編

序論

塚田誠之

第一部 移動の諸相

清代甘粛・陝西回民の新疆進出

——乾隆期の事例を中心に

華立

中国内モンゴル自治区におけるモンゴル族の季節移動の

変遷——錫林浩特地域の事例から

小長谷有紀

客家語と客家のエスニック・バウンダリーについて

の再考

瀬川昌久

「モン・ミャオ」における移住と文化社会戦略 谷口裕久

タイ北部、ミエン族の出稼ぎ——二つの村の比較から

吉野 晃

第二部 移動と民族間関係

太平天国前後の台湾における反乱と社会変容

——道光十二年の張丙の乱と分類械闘を中心に 菊池秀明

フロンティアにおける人口流動と民族間関係

——雲南省、西双版纳タイ族自治州の事例 長谷川 清

漢族がまつるモンゴルの聖地——内モンゴルにおける

入殖漢族の地盤強化策の一側面

楊海英

土族語はなぜ残ったか——青海土（トゥー）族の漢化

と母語維持

庄司博史

「西番」におけるプミ語集団——四川桃巴プミ・チベッ

ト族と雲南花プミ族を事例として

松岡正子

第三部 移動と文化の動態

中華人民共和国期における新疆への漢族の移住と

ウイグル人の文化

新免 康

プユマの対人呼称法

台湾タオのテクノニミーと慣習名の正名化 野林厚志

壮族の婚姻習俗『不落夫家』に関する一事例 塚田誠之

——一九四九年以前の広西西部靖西県安德鎮における

デオヴァンチとその周辺——シブソンチャウタイ・タ

イ族領主層と清仏戦争

武内房司

本書は一九九七年度から一九九九年度にかけて国立民族学博物館で行われた共同研究「中国における諸民族の移動と文化の動態——いわゆる周縁地域を中心として」の成果である。この共同研究では、中国南部および北部地域、さらには人々の実際の生活圏を考慮し、歴史的に画定された政治的な国境線にとらわれずに、台湾や東南アジア大陸部にまたがる中国周縁地域という広い地域の諸民族を対象として、人口移動と文化の動態に焦点を当てた。……

主題として扱われた民族として、中国では漢族・回族・ウイグル族・モンゴル族・チワン族・タイ族・トゥー族・チベット族・プミ族・ミャオ族が、タイではミエン族、ヴェトナムでは現在のタライ族に当たる民族が、台湾ではプユマ族・タオ族が扱われた。漢族としては、一般の漢族のほかに下位集団「客家」が扱われた。……

なお、本書には本格的な歴史学的分析方法に重点が置かれた論文に加えて、現地調査によつて得られた資料と歴史文献とを結合させた論文もある。言うまでもなく歴史に対する理解は、現在生じている事象をより深く掘り下げて把握するための足懸りを構築するうえで重要であり、このような調査資料と歴史文献の両方を用いた研究が多く収録されているのも、本書の特徴の一つである。（序論より）

体裁

・A5判・並製・函入り
・七二〇頁

定価

・二二〇〇円
(本体価格/税別)

発行所 風響社

114-0014 東京都北区田端四一四一九
電話〇三(三八二八)九二四九
http://www.fukyo.co.jp

発売 風響社 TEL: 03-3828-9249

センター取扱品

塚田誠之編

民族の移動と文化の動態

——中国周縁地域の歴史と現在

ISBN4-89489-036-4 C3039 ¥12000円

【お客様控え】

ご氏名

ご住所

お電話

月 日

注文書

地小出版